

2013年3月27日

# 第24回再処理・リサイクル部会 全体会議 議 事

1. 部会長挨拶
2. 平成24年度 再処理・リサイクル部会 部会賞贈呈式
3. 2012年度活動報告
4. 2012年度予算報告
5. 2013年度活動計画
6. 2013年度予算計画
7. 運営小委員会改選結果と体制(2013.3.27)
8. 再処理・リサイクル部会セッション

# 1. 部会長挨拶

再処理・リサイクル部会

井上 正 部会長(電中研)

## 2. 第8回再処理・リサイクル部会 部会賞贈呈式

### 業績賞

ハロゲン化および硫化反応による核燃料サイクルプロセスの  
基礎的研究

東北大学多元物質科学研究所 佐藤 修彰 先生

### 3. 2012年度活動報告：全体

- (1) 4月25日 拡大運営小委員会・・・平成24年度活動・予算計画、  
GLOBAL2011寄付金取扱い他
- (2) 7月13日 拡大運営小委員会・・・全体会議、部会セミナー準備他
- (3) 8月24日 第8回再処理・リサイクル部会セミナー
- (4) 9月4日 拡大運営小委員会・・・部会セミナー報告、  
GLOBAL2011寄付金使途計画他
- (5) 9月19～21日 第23回部会全体会議(広島大学)
- (6) 10月16～19日 ANUP(中国)
- (7) 12月16日 拡大運営小委員会・・・平成24年度活動・予算実績、  
平成25年度活動・予算計画他
- (8) 1月8～9日 第4回ぎんぎんセミナー
- (9) 2月19日 拡大運営小委員会・・・全体会議準備
- (10) 3月 平成24年度 再処理リサイクル部会 部会賞決定
- (11) 3月27日 第24回部会全体会議(近畿大学)
- (12) その他 燃料サイクルに関するテキスト作成
- (13) その他 クリーンアップ分科会に部会メンバー参加

### 3. 2012年度活動報告：トピックス

#### (1) ANUP(中国): 10月16～19日

- ・北京(中国)で10/16-19に開催されたANUP2012に本部会から約20名参加。
- ・清華大学Jing CHEN教授が主催。会議後、高温ガス炉(HTR-10)のテクニカルツアー。特に中国の学生の優秀さが印象的。



#### (2) 第4回ぎんぎんセミナー: 1月8～9日

- ・テーマ: これからの再処理と今後の研究開発
- ・参加者: 24名(青森原燃テクノロジーセンター)
- ・核燃料サイクル全体に関する政策、研究開発の方向性のあり方や問題点、六ヶ所プラントの試験状況、新たな元素利用に係る分離研究など、2日間にわたり8件の報告が行われた。



社会的な話題からミクロで科学的な話題に至るまで、非常に幅広い内容が報告され、深夜まで本音で議論しあうという、本セミナーの趣旨に沿った活動ができた。5

### 3. 2012年度活動報告：トピックス

#### (3) 燃料サイクルに関するテキスト作成

- ・核燃料サイクルに興味はあるが予備知識のない人を対象に、学会という中立・校正な立場で燃料サイクルに関する最新の技術を解説したテキストを作成。
- ・再処理・リサイクル部会のHP (<http://www.aesj.or.jp/~recycle/top.html>) にて第1章から第5章を公開。以降の章も順次公開。

#### (4) クリーンアップ分科会に部会メンバー参加

- ・JA南相馬の協力のもと、Cs移行試験を実施  
⇒春の年会で発表(A41, 42: 3/27の17時から)
- ・「除染の推進に向けた地域対話フォーラム」  
第1回(5/13@福島) 第2回(8/4@会津若松)  
第3回(10/14@白河)、第4回(11/23@郡山)、  
第5回(2/17@いわき)
- ・除染情報プラザへの専門家派遣  
分科会の会員を除染アドバイザとして派遣
- ・学会事故調査委員会に参画し、報告書執筆



# 4. 2012年度予算報告

		項 目	予算 (円)	実績 (円)	説 明
収入の部	一般正味財産	部会収入	1,389,000	14,108,413	
		平成23年度繰越金	0	0	
		通常予算	264,000	12,840,413	
		平成24年度部会配付金	264,000	264,000	
		テキスト売上収入	0	3,500	送料込み
		寄付金収入	0	12,572,913	GLOBAL2011余剰金
		セミナー	1,125,000	1,268,000	参加費
	指定正味財産	1,279,362	1,279,362	GLOBAL2005余剰金	
支出の部	一般正味財産	部会支出	1,367,000	4,081,393	
		通常予算	242,000	2,829,150	
		会議費	10,000	0	
		通信運搬費	3,000	845	
		その他	25,000	75,960	H23部会賞副賞、福島特別PJ稲作試験材料費 (¥55,960)
		旅費交通費	80,000	19,351	
		諸謝金	60,000	68,011	企画セッション講師旅費・謝礼、福島特別PJ稲作試験謝礼
		管理費配賦額	64,000	64,000	
		本部回収額	0	2,600,983	
		セミナー	1,125,000	1,252,243	
		会議費・会場費	600,000	686,260	
		旅費交通費	80,000	0	
		諸謝金	100,000	20,000	
		一般外注経費	300,000	525,000	
		その他支出	45,000	17,044	消耗品、副賞、振込手数料
		本部繰入金	0	3,939	残金¥15,757
	収支 (一般正味財産)		22,000	10,027,020	
収支 (指定正味財産)		1,279,362	1,279,362		

## 5. 2013年度活動計画:全体

- (1) 4月 拡大運営小委員会・・・平成25年度活動・予算計画、  
再処理・リサイクル部会セミナー準備、  
他
- (2) 6月 第9回再処理・リサイクル部会セミナー
- (3) 7月 拡大運営小委員会・・・全体会議、ぎんぎんセミナー準備、他
- (4) 8月 第5回ぎんぎんセミナー
- (5) 9月 拡大運営小委員会・・・部会セミナー報告
- (6) 9月3～5日 第25回部会全体会議(八戸工大)
- (7) 9月29日～10月3日 GLOBAL2013(米国)
- (8) 12月 拡大運営小委員会・・・活動/予算(H24実績とH25計画)、
- (9) 2月 拡大運営小委員会・・・全体会議準備
- (10) 2月 平成25年度 再処理リサイクル部会 部会賞決定
- (11) 3月 第26回部会全体会議(東京都市大)
- (12) その他 課題議論WG、SA研究WG
- (13) その他 クリーンアップ分科会に部会メンバー参加

## 5. 2013年度活動計画：トピックス

### (1) 第9回再処理・リサイクル部会セミナー：6月予定

- ・テーマ：再処理工場の事故対策（仮題）
- ・主旨：六ヶ所再処理工場は本年10月の竣工を予定しているが、本格操業の前に原子力規制委員会の定める新安全基準への対応が必要となる。本セミナーでは、新安全基準の柱のひとつとなる再処理工場の重大事故対策を中心に議論する。
- ・プログラム（予定）：
  - － 再処理工場のリスクプロファイル
  - － 六ヶ所再処理工場の重大事故対策
  - － ラ・アーグ再処理工場のシビアアクシデント対策

### (2) 第5回ぎんぎんセミナー：8月予定

- ・テーマ：未定（第4回の議論を踏まえて、今後、決定）
- ・場所：青森原燃テクノロジーセンター（予定）
- ・大学関係者の皆様には、学生の参加を勧奨いただくようお願いする。  
（部会から交通費を助成する）

# 5. 2013年度活動計画：トピックス

## (3) 課題議論WG

### ・目的

原子力・核燃料サイクルの将来展望については、福島原発事故以降不透明な状況が続いており、今後、国レベルでエネルギー基本計画が議論される予定である。このような状況下で、当部会でも将来展望を議論することが重要と考え、現状の課題について1件ずつ集中的に議論するため、若手・中堅を主体としたWGを設置する。

### ・活動

若手・中堅を中心に15名で構成。議論結果は、部会HP、セミナー等で外部発信。  
(必要な場合には、参加者の旅費を部会が負担する)

### ・議題案

六ヶ所再処理工場、東海再処理工場、もんじゅ、プルトニウム利用、使用済燃料対策、分離変換、基礎化学

## (4) SA研究WG

### ・目的

外的事象を起因とするどのような重大な事故が想定されるのか、最悪の状態下においてどの程度まで拡大するおそれがあるのかを関係者間で調査、検討、議論し、合意できる点をまとめるとともに残された課題を明らかにする。

### ・活動

産官学から約20名程度の委員を選定予定

## 6. 2013年度予算計画 (2012/11/20申請時)

項 目		予算 (円)	H24年度 (円)	比較増減 (円)	説 明
収入の部	部会収入	12,378,809	1,389,000	10,989,809	
	平成24年度繰越金	10,756,809	0	10,756,809	
	本部予算	262,000	264,000	2,000	
	平成24年度部会配付金	262,000	264,000	2,000	
	その他収入	0	0	0	
	独自事業予算	1,360,000	1,125,000	235,000	
	参加費	1,360,000	1,125,000	235,000	部会セミナー、ぎんぎんセミナー
支出の部	部会支出	4,323,000	1,367,000	2,956,000	
	本部予算	262,000	242,000	20,000	
	会議費	0	10,000	▲10,000	
	通信運搬費	3,000	3,000	0	
	旅費交通費	50,000	80,000	▲30,000	企画セッション講師旅費
	諸謝金	159,000	60,000	99,000	燃料サイクルテキスト謝礼(30万の一部)、企画セッション講師謝金
	管理費配賦額	0	64,000	▲64,000	H25のみ管理費なし
	その他支出	50,000	25,000	25,000	H24部会賞副賞、
	独自事業予算	4,061,000	1,125,000	2,936,000	
	会議費・会場費	720,000	600,000	120,000	
	旅費交通費	2,090,000	80,000	2,010,000	福島特別PJ活動旅費(17万×12月)
	諸謝金	191,000	100,000	91,000	燃料サイクルテキスト謝礼(30万の一部)
	一般外注経費	530,000	300,000	230,000	
	その他支出	530,000	45,000	485,000	消耗品、副賞、GLOBAL2013渡航費補助(10万×5名)、他
	収支	8,055,809	1,301,362	6,754,447	

# 7. 運営小委員会改選結果と体制(2013.3.27)

部会長:	井上 正	(電中研)	
副部会長:	藤田 玲子	(東芝)	分担
運営委員:	梅田 幹	(原子力機構) . . .	庶務
	鴨志田 守	(日立) . . . . .	庶務
	黒田 一彦	(三菱重工) . . . .	会計
	塚原 剛彦	(東工大) . . . . .	会計
	赤澤 孝	(関電) . . . . .	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	飯塚 政利	(電中研) . . . . .	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	稲垣 八穂広	(九大) . . . . .	企画(国際WS、ぎんぎんセミナー)
	染谷 浩	(三菱マテリアル) .	企画(部会セミナー、国際WS)
	加瀬 健	(原子力機構) . . .	企画(ぎんぎんセミナー、部会セミナー、部会HP)
	澤田 佳代	(名大) . . . . .	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	鈴木 達也	(長岡技大) . . . . .	企画(学会企画セッション、ぎんぎんセミナー)
	大西 貴士	(原子力機構) . . .	広報(ぎんぎんセミナー、部会セミナー)
	加納 正規	(日本原燃) . . . . .	広報(部会セミナー、国際WS)
	佐藤 修彰	(東北大) . . . . .	広報(国際WS、学会企画セッション)
	多賀 純一	(東芝) . . . . .	広報(学会企画セッション、国際WS)
	中熊 哲弘	(東電) . . . . .	広報(六ヶ所情報、部会セミナー)
	中村 裕行	(日本原燃) . . . . .	広報(六ヶ所情報、国際WS)
	野上 雅伸	(近畿大) . . . . .	広報(学会企画セッション)
	日山 伸行	(原燃工) . . . . .	広報(部会セミナー、国際WS)

顧問: 竹内哲夫(元原子力委員会/東電)、近藤駿介(原子力委員長)、田中知(学会福島特別プロジェクト代表)  
 参与: 野村茂雄、小山智造、峯尾英章、天野治、駒義和、藤田雄二、森田泰治、松村達郎、小泉務、小山真一  
 (原子力機構)、鈴木一弘、鈴木一雄、富田邦裕、向原進、徳森律朗、山澤正俊(東電)、子安徹人(関電)  
 西村友宏(電中研)、池田泰久(東工大)、松本史朗(JNES)、田辺哲朗(九大)、山名元、白井理(京大)、  
 山村力(東北大)、浅沼徳子(東海大)、波多野守(エネ総研)、倉重有幸(原燃工)、半沢正利、大場一鋭  
 (MMC)、有田裕二(福井大)、森行秀(MHI)、深澤哲生、星野国義(日立GE)、山田和矢(東芝)

## 8. 再処理・リサイクル部会企画セッション (共催:クリーンアップ分科会)

「福島原子力発電所事故のオフサイトとオンサイトの  
現状と問題点」

(3月27日(水) 13:00~14:30、F会場)

座長(東芝) 藤田 玲子

(1)環境修復にかかわる費用算定方法

(エネ総研) 石倉 武 様

(2)福島第一発電所ONサイトの計画

(東京電力) 新井 知行様

石川 真澄様